

## 須永 隆夫(すなが たかお)先生のプロフィール

国立東静岡病院・新潟大学医学部第一内科で内科研修  
新潟医療生活協同組合 木戸病院内科 → 木戸クリニック内科

25年ほど新潟大学医学部の非常勤講師を続けている。  
橋本敬三氏の体系づけた操体法(生活習慣病の予防、リハビリ、健康増進まで)を  
全国にお伝えしている。

専門科目: 内科

- ◇生活習慣病の予防、治療、リハビリまで
- ◇漢方・針灸で対応可能な疾患への対応
- ◇子供から高齢者まで、漢方・針灸・操体法・食事療法など  
生活習慣改善への相談と、自然治癒力への手伝い
  - ・かぜ症候群～癌まで
  - ・女性の性周期・閉経への病態への治療(不妊も含めて)、  
自律神経失調症、冷え症等
  - ・子供の慢性疾患
  - ・腰痛・膝関節症・肩関節周囲炎などの疼痛疾患
  - ・膠原病等への対応



### ◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

1972年(昭和47年)静岡県の国立東静岡病院、  
橋本行則先生の漢方病棟へ研修に行ったのが、漢方との本格的な出会いです。

### ◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

内科ですが、呼吸器系、消化器系、循環器系、神経系へと、  
人という動物の心身のバランスを取る漢方での効果。  
一緒にいくつもの症状も改善する。そんな漢方の効果に驚かされる日々です。

### ◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

漢方薬8割、西洋薬2割 くらいでしょうか。

### ◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

全国の医学部で漢方の授業数も増え、医師国家試験にも入り、  
ほとんどの病院で漢方外来が出来る。



漢方薬の処方だけでなく、漢方治療がより普及すると思います。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

風邪気味の時、1～2服で軽快です。胃の調子や夏の疲れなどにも効果を実感しています。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

漢方医学、医療の基本に、事ある毎に立ち返りつつ、  
一人一人の症例から学んでください。(できるだけお手伝いします。)

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

漢方には、速効性もあるし、副作用もまれにあります。  
心身のバランスを改善しながら、治る力をより沸き立たせる  
すばらしい医療学、治療法のひとつです。より身近にして下さい。  
限りある資源を大切に服用して下さい。

◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

「良いところ、好きなところを伸ばす。」

「60%でよいよ。頑張りすぎないで。」

「ありがとう。」



注意:先生へのインタビューは、当会が2007年2月に行った内容です。